

Yonago East Weekly

●創立/1968年4月24日 ●事務所/米子市西福原1-1-55 ホテルサンルート米子 Tel (0859) 32 - 5531
●例会日/水曜日12:30~13:30 ●例会場/ホテルサンルート米子市西福原1-1-55 Tel (0859) 33-0911
●会長/尾沢三夫 ●幹事/永見吉平 ●会報/伊藤慎哉

出席報告

会員数78名

今週のお祝い

本人誕生祝: 2日 新納哲雄君 18日 井上賢明君 21日 杉原弘一郎君 24日 鷺見雄司君 25日 梅田整一君

会長挨拶

本日は、尾沢年度のガバナー公式訪問日です。今日は丁度、私が所属しているところで種田会員が社会福祉協議会の会長をされている敬老会と同じ日に重なってしまいました。ガバナーをお迎えしておきながら申し訳ないと思います。

本日のご来賓は、今年度のガバナーである倉吉ロータリークラブの伊藤文利先生です。それと、随行幹事として水谷哲章様をお迎えしています。

先ほど、伊藤ガバナーとの会長、幹事打ち合わせ会を済ませました。わが米子東ロータリークラブは素晴らしいクラブであると皆さんと同じように思っています。しかしながら、自分の中では見えない部分を伊藤ガバナーから指摘を受けました。クラブの活動・運営計画書を今まで当たり前と思ってつくってきましたが、「この部分は気になるね」とか「この部分は後々のために記入しておいたほうがいいよ」とか、「歴史が活かしていない部分があるよ」などの指摘でした。これは、具体的には次年度の小谷年度においてきちっと反映していくことになると思います。自分たちで自分たちを見て、律しながら、見直

していくことは大事な事だと思えます。

今年度は、2ヶ月が過ぎました。残り5/6ですが、この喜びはやったものでないとわからないものです。非常にうれしい日々を過ごしています。今日は、ガバナー公式訪問を受けての例会です。最後まで協力をお願いいたします。

幹事報告

1. 本日18:30~家庭集会(王子倶楽部)
2. 台風12号災害に伴う義援金のお願い
3. 松江南RCより創立50周年記念誌
4. 地区大会の表彰について
長寿賞 満90歳 村上一平会員
5. 東日本大震災義援金の取り扱いについて
6. 東日本震災復興基金とR財団寄与について
7. 例会変更のお知らせ

米子中央RC 9/29(木)夜間例会

ビジター受付 あり

倉吉東	9/29(木)	〃	〃	(事務局)
鳥取西	9/30(金)	〃	〃	〃

9月14日 第1回 家庭集会
王子倶楽部にて



今後の行事予定

- | | |
|-------|------------------|
| 9/23 | 第2グループ親睦ゴルフ大会 |
| 9/28 | 観月夜間例会 |
| 10/16 | 中学生作文コンテスト表彰式 |
| 10/21 | 地区大会記念懇親チャリティゴルフ |
| 10/23 | 地区大会 |



こころの中を見つめよう 博愛を広げるために

Reach within to embrace humanity

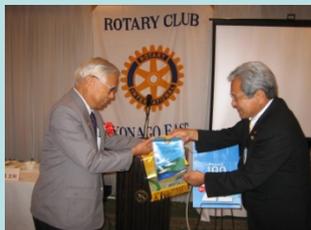
こころの中を見つめよう 博愛をひろめるために

《 プログラム 》

伊藤ガバナー公式訪問

RI第2690地区ガバナー

伊藤 文利 氏



ガバナーの伊藤です。本日は公式訪問で米子東RCを訪問させていただきました。朝早くから尾沢会長、永見幹事はじめ皆さんのお出迎えを受けて有意義な時間を過ごさせていただきました。例会に入った瞬間男性ホルモンの匂い、そして、ほのかに放つ女性ホルモンの匂いと本当に気持ちのよい雰囲気でした。聞きしに勝る米子東RCのエネルギーを肌で感じました。先日、井上前会長が大ミエを切って100人に挑戦すると言われました。現場に立たせていただきますとホラではなく本当の話だなと感じました。

村上さん誠におめでとうございます。今年の尾沢会長の目標はチャレンジ100です。どうぞ、村上さんもチャレンジ100で、あと10年間がんばってください。100%出席、100人会員は不可能な数字ではない。ぜひ、がんばって努力してください。いろいろと米子東RCとは縁が深い。前のガバナーには、新宮先生が出ていらっしゃいます。残念ながら2年前に亡くなりましたが、新宮先生の遺伝子は、CLPという形で生きています。今、67のクラブがこの地区にあります。1/3はCLPを採用しています。新宮先生の意思は十分に生きています。そういう新しい感覚でロータリーを見つめ直したり、検証することは大切なことだと思います。そういう意味で、今日、これからお話しさせていただきます。

ガバナーの役割はいろいろあり、それは、公式訪問することによってクラブを啓発し、意欲を高めることでありますが、実は、ガバナー冥利に尽きることは、「私が教えてもらうことである」ということ、そして、一期一会の喜びがあることです。これはとても貴重なことなのです。

「地区内の継続性を確保する」について
ガバナーは、2年続けてできません。1年限りです。そういう意味で、次の人にバトンタッチする我々は駅伝の選手です。我々は、継続性を確保しながら成績を上げることが大事です。

「ロータリーは簡単である」
社会奉仕が難しい、国際奉仕が難しい、職業奉仕が難しいとよく言われますが、簡単です。私は野球が大好きです。米子東RCも野球が大好きで、毎年、全国大会に行かれるそうです。私が言いたいことは、新庄剛志の言った言葉です。彼は、イージーなセンターフライをいかにも難しそうに捕って、ファインプレイに見せかけ、観客を喜ばせるのがプロだと言っています。我々は、奉仕のプロです。とにかくやさしいと思ってやってほしい。要するに汗をかくことです。

次は、「入れて学び、出でて奉仕せよ」という言葉です。
本日は、米子東RCは100%出席でした。これは、居心地がいいからだと思う。ここに来て、人生哲学を学びなさい。そして、一步外へ出たら、奉仕しましょう。私は開業医です。笑顔で患者さんを治す。その喜び、これが奉仕です。簡単なのです。
「長期計画」という言葉は、昨年のRI会長であるクリンギンスミスが言い出した言葉です。実は、これは「戦略的計画」のことです。「戦略的計画」は、勝つか負けるかです。勝負の世界です。ロータリーが成功するか、失敗するか、尾沢年度が成功するか失敗するかということであり、長期計画ではあるが、その年度、年度が勝負です。ぜひ、尾沢年度が成功する計画を持ってほしい。どうすればよいか、会員として必要な

キャラクターは、次の5つです。奉仕の精神があるか、親睦を深めているか、多様性があるか、高潔性があるか、リーダーシップがあるかです。中でも、ロータリーでいちばん大事なものは、リーダーシップです。会長、幹事が育てるのはリーダーシップです。多様性についてであるが、米子東RCは、女性も数名いらっしゃいます。老若男女の方がいらっしゃいます。そういう意味でいいクラブであると思います。

私はよく「奉仕適齢期」という言葉を使います。これは、奉仕ができる間はロータリアンであるということです。

長期計画でクラブが成功するためには、3つの柱があります。

1つは、クラブの会員数を増やすこと。

2つ目は、耳が痛いかもしれないが、お金を集めてください。寄付を集めてください。そのお金は、地域によいことをする。世界によいことをするということです。

3つ目は、「いいことは宣伝しましょう！」ということです。堂々といいことは宣伝しましょう。

「ロータリーは汗をかく団体である」そして、ロータリアンは「いいことをしようとする人間です」

「超我の奉仕」は、忘己利他：己のことは2番目、3番目にして、他人の利益、幸せを第一優先にしようということである。ただ、これだけでは食っていけないので、ロータリーの良い考え方がここにある。それは、「最もよく奉仕するもの、最も多く報われる」ということです。これを分かりやすく言えば、「ロータリーは右手に論語を持ち、倫理観を先に出して儲けなさい」ということです。

今年度のRI会長カルヤン・パネルジーのテーマは、「心の中を見つめよう、博愛を広げるために」です。文学的、哲学的内容であり、この「心の中を見つめよう」というのは、「入りて学び」です。そして、「博愛を広げるために」は、「出でて奉仕せよ」と私は理解しています。もう一つ、彼は、家族のことを言っています。「家族こそ世界平和の基本である」と強調しています。

さて、私の地区スローガンは、「ロータリーは人をつくる」ということです。これは、ロータリアンは、子供からも大人からも「あの人はすばらしいロータリアンだ！」と言われるようなロータリアンでありたいと思うからです。どんな人かという、良寛さんのイメージです。「低く暮らし、高く思う」という人です。水前寺清子の歌の「ボロは着てても心は錦」といった感じの人です。

さて、現実に戻ります。米子東RCは、本当に全て100点満点です。ただ、財団への寄付率が低いです。米山にしてもなんにしても協力願いたい。今日は、米子東RCの公式訪問で卓話をさせていただき本当にありがとうございました。ロータリーというものが少しでもお分かりいただければうれしいです。皆様のご健勝をお祈りして感謝の言葉といたします。